



# 子どもの目、子どもの心

4年生が道徳の学習を通して、「友だちを大切にする」こと  
こついで考えました。

## リレーで起こったこと

こんな出来事が、私の目の前で起こりました。それはクラスでリレーをしていた時に、ある走るのが苦手な友だちがぬかされてしまいました。その時、同じチームの中の一人がかんかんにおこっていました。友だちはおこっている人に、「次は、がんばるからね。」といいました。でも、おこっている人はその言葉が聞こえなかったのか、また悪口をいってしまいました。友だちは、かなり傷ついたと思います。私は、頑張って走っていたのに、なぜおこられないといけないのかと思いました。そして、おこっている人を止めなかったことを後悔しました。

## お昼休みの大なわ

私は大なわがふつうにとべていたのに、あるときゆうにうまくとべなくなりました。

みなさんは、そんなことはありませんか？私はじしんがなくなって、大なわをとばずにくぐってばかりいました。そんな時、クラスみんなが「どんまい。」「つぎは、とべる。」等とってくれたのでうれしくなりました。そして、やってみるととべました。そして、気持ちもよくなりました。私もできない人がいたら、その人の気持ちになって声をかけてあげたいです。

上の作文のような事は、子どもたちの学校生活の中で、毎日のように起こっていることだと思います。その中で、「相手の立場」になって少しでも考える事ができたなら、言葉や行動で傷つけるようなことは起こらないようになるでしょう。友だちは本当に素敵な宝物です。自分も相手も大切にしていきたいものです。